

# 令和3年 大分県言語障がい友の会 なし会 アンケート結果

## 1、目的

なし会は、ことばの障害を持つ方同士が、コミュニケーションの機会作りや社会生活・社会復帰への情報交換、また社会への失語症の理解を深めることを目指し活動する失語症当事者を中心とした会です。県内8つのブロックで年に数回の食事会や外出等を企画し活動しており、大分県言語聴覚士協会はなし会の活動を側方的に支援してきました。

しかし、2020年より新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動を自粛して以降、2021年も活動を再開することができませんでした。そのため2021年にコロナ禍で失語症当事者やご家族が、コミュニケーションに対しどのような影響を受けているか、また、なし会の活動再開への思いなどを把握し共有するために今回のアンケートを実施しました。

## 2、アンケート対象者

大分県言語障がい友の会 なし会 会員・ご家族

## 3、調査期間

2021年7月20日～8月20日

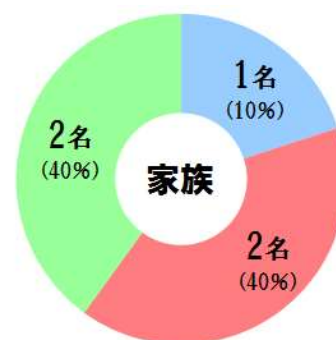
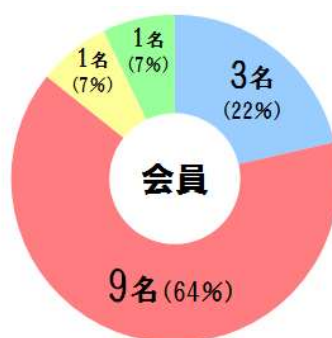
## 4、回収率

回答数：会員14名・ご家族5名  
回収率39%

## 5、アンケート結果

### ①なし会の活動再開について

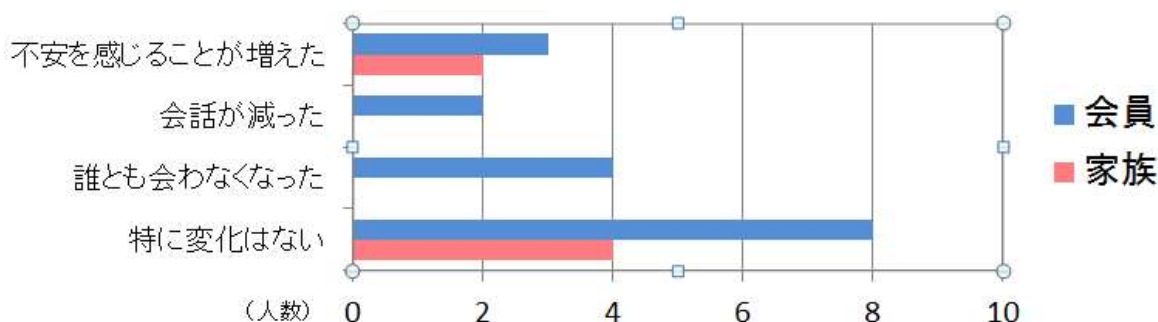
- 早く再開したい
- コロナ終息まで活動再開は待ちたい
- どちらともいえない
- その他



### ◎その他の意見

- ・別府なし会は会員がいなくなります。
- ・本人は2年前から働いています。(健常者扱い)フルタイムです。

### ②コロナ禍を過ごして変化はありますか ※複数回答可能



### ◎その他の意見

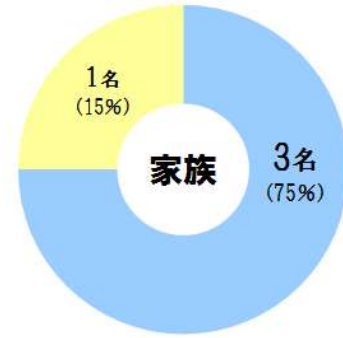
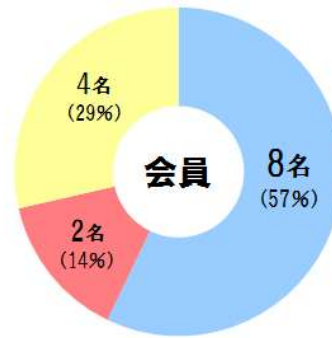
- ・ショートステイ、デイ等で忙しい。
- ・外出制限があつて外に出られない。

③新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、なし会の活動をインターネットを利用したオンラインでの開催も検討しています。  
なし会の活動の形式について、どの方法を希望しますか？

■ 集合形式がよい

■ オンライン形式がよい

■ どちらともいえない



④インターネットなどのオンラインの使用について



※「できない」に○印をされた方は、理由をお聞かせください ※複数回答可能

- ・インターネットができるパソコンがない (複数名)
- ・パソコンがあっても、やり方がわからない (複数名)
- ・インターネット契約をしていない。する予定もない。
- ・パソコンを処分した。生活はゆったりと相手が会っての生活かと。

5、なし会へのご意見・要望などございましたら、ご記入ください。

- ・県北地区には私一人じゃないですか？連絡はずっとできません。
- ・元気に過ごしています。
- ・3年前アンケートを取るように勧めましたが、遅すぎます。ブロックでの集会が続けられるブロックは継続しても全体としては解散を願っています。私のブロックでは色々と試みましたが解散しかありません。スタッフも集会するにしても大変です。希望者いればその方は交流してあげた方がよいと思います。長年ありがとうございました。
- ・長い間なし会に参加させて頂きましたが、湯布院病院でのリハビリが終わりました。楽しい思い出を作ってくださいありがとうございます。
- ・お世話をしてくださっている先生方、いつもお世話になっています。これからもよろしくお願いします。楽しみにしています。
- ・世話役は若い人達であると思う。お世話になる当事者は老人が多いと思う。老人はゆっくりと人と人との会話等で生活が成り立っている。パソコンやオンライン等が入っていない部分がある。
- ・お世話になっています。現在会費等払っていないのでお手紙をいただき、経費を減らして申し訳なく思っています。今後は送らなくてもよいです。すみません。

## 6、アンケート考察

今回、初めてアンケート調査を行い、回収率は39%と半数に満たなかったものの、コロナ禍での失語症者への影響や、なし会の活動再開への思いのみでなく、これまでの活動に対する意見も多く聞くことができました。

なし会の活動再開については、「コロナ終息を待ちたい」という意見が多くきかれました。また、「活動再開を楽しみにしている」「コロナ禍で集まれないことへの不安や落胆といった気持ちをもっている」などの意見もありました。オンライン開催については、障害特性として、文字理解に影響を受けることや、会員の年齢層も影響し、パソコン等の機器を使用できる会員が少数であることが明確となりました。失語症の方とのコミュニケーションに於いて、相手の表情、会話やその場の空気感といった、対面でのコミュニケーションでしか得られにくいこれらの情報はとても重要で、お互いに取得出来る情報量が多いです。そのため、感染対策を行いながらも開催できる方法や内容の検討を行い、活動再開に向け会員やそのご家族と検討していきたいと考えています。

会員・ご家族がコロナ禍を過ごして感じた変化では、「特に変化はない」との回答が半数を占めました。しかし、「不安を感じるが増えた」「会話が減った」「誰とも合わなくなった」などのコミュニケーション面に影響が出ている方が半数いることが分かりました。感染症対策として外出や様々な活動が制限されており、コミュニケーション活動が制約されています。また、マスクを装着することで、表情が読み取りにくくなり視覚的な情報が減り、コミュニケーションへの不安に影響を与えていることが考えられました。

なし会の活動に対し、これまで課題となっていた会員の減少についても明確となりました。活動の目的であるピアサポートとして、同じ障害をもつ方々が最も理解し合え、精神的な安定や自信の回復につながる。また、ご本人・ご家族ともに障害受容を促進することに加え、社会への失語症に対する啓蒙活動は、私たち言語聴覚士だけで達成できるものではありません。発症後、初めて出会う当事者およびご家族へのよき理解者として、また、コミュニケーション活動を支援する専門職として側方支援の在り方を再考する必要性を感じました。

オミクロン株の流行とともに、まだまだ終息の兆しは見えませんが、今しかできないことを考え、新たな活動方法やなし会のあり方を協議していきたいと考えています。

以上簡単ではございますがアンケート結果とさせていただきます。アンケートにご協力をいただいたなし会会員、ご家族のみなさまに感謝申し上げます。

【問い合わせ先】  
(公社) 大分県言語聴覚士協会  
福利厚生部 (なし会事務局)  
阿部秀彬  
電話番号：0974-64-0310  
(竹田市地域包括支援センター)